

ひかりと いのちの なかま

光寿院住職 酒生 文弥

おんりえど ごんぐじょうど
厭離穢土・欣求浄土——新たな77年への旗幟——

戦国時代、武将は旗印やモットーにそれぞれの信念を掲げて戦に臨みました。「旗幟鮮明」という表現があるように、戦いには明確な大義が必要でした。

有名な旗幟

武田信玄は「風林火山」。風のようにすばやく動き、林のように静かに構え、火の如く激しく攻め奪い、山のようにどっしりと構えて動かない。これは「戦術と戦略」を語っています。有名な孫子の兵法

からとられています。

信玄と川中島で何度も対決した上杉謙信は「毘」でした。敬虔な仏教徒であった謙信は独り、何日も何十日も毘沙門堂にこもって仏教の戦いの神、毘沙門天に祈りを捧げ、幾度となく自問自答しました。「この戦さに大義ありや？ 正義ありや？ 越後の民を守り救いたまえ！」民を守るために敢えて戦ったのです。

真田幸村は「六文銭」。六文銭は死に装束で使われる頭陀袋に入れる副葬品で、浄土への旅の途中でお金に困ることのないように、という気持ちが込められています。あの世で使うお金という意味から冥途のお金、「冥銭」とも呼ばれます。「決死の覚悟で戦え」ということです。

織豊政権と危うさ

戦国時代に終止符を打ったのはいずれも尾張・三河から輩出した三人の英傑、織田信長、豊臣秀吉、そして徳川家康です。鳴かないホトトギスを題にした俳句で信長は「鳴かぬなら殺してしまえ」、秀吉

は「鳴かしてみせる」、家康は「鳴くまで待とう」と謳ったというのはあまりに有名なエピソードで三人の性格をうまく表しています。

旗印ではありませんが信長は「天下布武」天下を武力で平定する、と号令して天下取りに邁進します。激しい気性と果断で徹底した戦いぶりである有名な信長らしい表現です。英雄とはいえるでしょうが、浅井・朝倉の罫罫で酒宴をしたり、比叡山焼き討ち、一向一揆殲滅など、日本史では希にみる大量虐殺者・サイコパスだったと考えられます。

その信長を暗殺した腹心、明智光秀の旗印は「桔梗紋」。桔梗紋はもともと美濃国を治めていた光秀の主君土岐氏の家紋です。

「朝家(天皇家)の守護」であった、源頼光の子孫である土岐光衡が、合戦の時に桔梗を兜に挟んで戦ったのが、家紋となった由来です。つまり、光秀はパラノイアが昂じて自ら天皇になろうとした信長を弑する宿命にあったのでしよう。

天王山で光秀を破り、いったん天下を平定した豊臣秀吉。その旗印は、旗地が金色に光った「総金」



厭離穢土
欣求浄土



徳川家康像(狩野探幽画)

と呼ばれるもので、羽柴姓を名乗っていたころから用いています。千成瓢箪を掲げ聚楽第を造った天下の「成り上がり」だった秀吉らしい意匠です。彼もパラノイアにかられ朝鮮出兵に失敗、実子秀頼可愛さに秀次と一族郎党・家臣まで皆殺しにし、結果として臣下と民心の離反をもたらし、豊臣家滅亡に繋がって行きます。

三百年の泰平を開いた徳川家康

さて、家康の旗印は「厭離穢土・欣求浄土」、穢い世の中を厭い離れて極楽浄土を求め、です。源

信の「往生要集」に書かれた浄土仏教の要諦です。

当時17歳の家康(松平元康)は桶狭間の戦い(1560年)で敗軍の将として辛くも生き延びました。織田軍の追っ手を振り払い、故郷岡崎の菩提寺・大樹寺に逃げ込んだものの「もはやこれまで」と先祖代々の墓所で自害しようとした。そこへ寺から出てきた登誉上人が「代々松平家は平和な世の中を創ろうとしてきた。その想いをあなたは断ち切るのか?」といさめ「厭離穢土・欣求浄土」を授け、平和国家建設にまい進するよう励ましたと言われています。やがて関ヶ原の戦い(1600

年)に勝利し、豊臣家を滅ぼし、元和堰武(1615年)で「穢く血塗られた戦国の世」にピリオドを打って、世界史にも希にみる「徳川家三百年の泰平の世」を拓いたので。最も遠大で崇高なビジョンを貫いた家康がこの国の平和・繁栄を実現できたことは偶然ではない。天はその経倫に叶う命を運ぶのです。

志こそ一番の旗幟

武将たちの旗印から人生と言う闘争へのそれぞれの想いをざっと見てきました。結論は、「志」(心が目指すところ)を如何に確立し堅持して生かされ抜く

か、が人生と処世の要諦であるということ。その後、明治維新(1868年)から終戦(1945年)まで「富国強兵」の77年、そして終戦から昨年(2022年)ま

で「経済大国」の77年を経ました。なんとなく信長と秀吉の生き方にオーバーラップします。

今年、令和5年は新たな77年への旅立ちの歳です。大河ドラマも家康を描きますが、私たち日本人は再び「厭離穢土・欣求浄土」を志に、兎の様に跳びはね脱兎の如く邁進しましょう! 急速に開化するAI-R文明は地上浄土実現を強力に推進するはず。です。

酒生文弥

- 1956年9月8日 福井市篠尾町 浄土真宗本願寺派浄福寺 (753年創建)に生まれる
- 1980年3月31日 早稲田大学 政治経済学部卒業
- 1982年3月31日 (勸)松下政経塾 (第1期生 修了)
- 1987年3月31日 龍谷大学大学院博士後期課程修了(仏教学・比較宗教学)
- 同大学院から昭和59年9月、昭和60年8月カリフォルニア大学大学院宗教学研究科へ文部省奨学生留学
- 1986年1月、12月 ニュージャージー州ラトガース大学大学院ヘロタリー奨学生留学
- 浄土真宗本願寺派 得度(僧籍) 教師(住職資格) 頭座 僧侶最高位) 光寿院 www.kojin.com/